

1. 調査報告概要表

作成日 2009年9月11日

【評価実施概要】

事業所番号	1590200174
法人名	社会福祉法人長岡東山福祉会
事業所名	グループホーム花の里かつぼ
所在地 (電話番号)	新潟県 長岡市 水穴町 393番地 (電話) 0258-44-8773
評価機関名	エム・エム・シー総合コンサルティング 株式会社
所在地	新潟県 上越市 富岡 3446
訪問調査日	平成21年8月10日

【情報提供票より】(21年6月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 20 年 9 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 13 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	9.6 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨耐火造り		
	2階建て	1階	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	53,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	-	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(6月30日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名	
要介護1	2 名	要介護2	6 名			
要介護3	9 名	要介護4	1 名			
要介護5	0 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	85 歳	最低	74 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	立川総合病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームはのどかな地域にあり、同法人が運営する特別養護老人ホームに隣接しています。運営理念である『家庭的な温かい雰囲気、信頼のおける関係、笑顔あふれる日々を共に創造いたします』のもとにサービスの向上に取り組まれています。地域との交流も活発に行われ、様々な地域の行事にも積極的に参加しています。ホーム内は『心地よさ』を大切にする管理者の思いが込められており、居心地よく温かみのある生活空間がつくられています。また、ホームの庭は色彩がきれいに整備されており、隣接する畑では利用者と収穫を共に楽しめるようになっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての評価となるため、該当しません。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての外部評価でしたが、職員全員に自己評価に取り組んでもらい、管理者と計画作成担当者でまとめました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には民生委員・町内会長・包括支援センター職員などに参加してもらい、改善点等があればグループホーム会議で検討し、対応をしています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関に苦情受付窓口を設置しており、意見があった時には職員へ周知し、改善をする対応を取っていますが、あまり活用はされていません。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	老人会の行事、地域小学校の花壇整備への参加、長岡駅前プランター整備に参加し地域との交流を図っているほか、同法人の特養の行事に地域の人に参加してもらって交流を図っています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人で作成した『家庭的な温かい雰囲気、信頼のおける関係、笑顔あふれる日々を共に創造いたします』の理念を掲げ、職員同士でも『心地よさの追求』・『地域貢献』の2つのスローガンを掲げています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の職員会議で理念を確認し、日々のケアの振り返りを行っています。		
2-2	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	開設前に地域への説明会を実施し、運営推進会議にて運営方針、理念を説明し理解を得ています。また、年4回広報を作成し、ご家族へ配布しているほか、最近では広報を地域への配布も行っています。		
2. 地域との支えあい					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会の行事、地域小学校の花壇整備への参加、長岡駅前プランター整備に参加し地域との交流を図っているほか、同法人の特養の行事に地域の人に参加してもらって交流を図っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が初めての外部評価でしたが、職員全員に自己評価に取り組んでもらい、管理者と計画作成担当者でまとめました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には民生委員・町内会長・包括支援センター職員などに参加してもらい、改善点等があればグループホーム会議で検討し、対応をしています。		運営推進会議の2ヶ月に1回の開催がされておりました。スケジュール調整などを計画的に行い、予定通り実施されることを期待します。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の議事録を市に提出し、事業所の状況を把握してもらっています。		
6-2	11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止に関する研修を同法人の特養と合同で開催したり、管理者が研修参加後に虐待の防止の徹底をするなどの対応をしています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご利用者ごとにお便りの送付しているほか、面会時、行事や運営推進会議の時に個々のご利用者の状態の報告をしています。		現在は職員の異動に関しては特にご家族への説明を行っていません。ご家族の不安につながらないためにも異動の際の説明を行なわれることを期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情受付窓口を設置しており、意見があった時には職員へ周知し、改善をする対応を取っていますが、あまり活用はされていません。		今回の外部評価のアンケートで初めて気付くところもあり、日々の交流のなかで意見をより吸い上げられるようにされることを期待します。
8-2	16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員へアンケートを実施し意見を聞く機会を設けており、『会議の持ち方』、『人員体制への提案』などの意見がありました。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設1年未満であるので異動は必要最小限にとどめています。居室担当を2人体制にしているため、異動があっても2人とも入れ替わることができるだけないようにしています。		現在は職員の異動に関しては特にご家族への説明を行っていません。ご家族の不安につながらないためにも異動の際の説明を行なわれることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9-2	18-2	マニュアルの整備 サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。	事業所に必要なマニュアルは一通り揃っており、事業所に応じた見直しも行われています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での新人研修、勤務年数に応じた研修、資格取得のための研修を設けています。また、外部研修も参加する機会をつくり、参加後は会議にて内容を共有する時間を設けています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が市内グループホームの意見交換会の参加や、他事業所の管理者との連絡は行なっていますが、職員間の交流はありません。		他事業所と職員間で交流する機会を設け、気づきを与えられる場の提供をされることを期待します。
11-2	21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減のため、地域のスポーツ大会、クリーン作戦への参加や、法人主催の体操教室やフラワーアレンジメント教室、忘年会やサマーパーティーなどの活動も行なっています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス開始前のご本人・ご家族の事業所見学、ご利用者のお茶飲み会などを行えるようにし、安心して利用していただけるようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑の野菜作りでは収穫までのプロセスのなかでお互いに共有する機会があるほか、漬物づくり・おはぎづくりではご利用者が指導しながら職員と一緒に作業をすすめていたりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
13-2	28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	定期受診はご家族にお願いしているほか、忘年会・夕涼み会などご家族にも参加していただける行事を開催し、関係の構築をしています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が日々の援助のなかで確認したり、居室担当が3ヶ月に1回のモニタリング時に確認して意向の把握に努めている。		
14-2	34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活暦もシートに記入して管理しているほか、ホームでの生活の状況のなかで新たに把握した情報についてもシートに記入して情報の共有に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画書は、他職員から意見をもらって作成しています。また、作成後にはご家族の確認をいただいています。		現在作成されている介護計画書は、短期目標と長期目標が6ヶ月間で同じ扱いになっています。それぞれの期間に応じた目標設定をされることを期待します。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングの状況に応じた見直しは行っていますが、定期的には1年に1回の見直しになっています。		定期的な見直しをしていますが、時期に応じてできていないケースも見られます。ルール通りに対応できるように検討されることを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診支援、買い物支援、理美容の支援、外食支援などご家族・ご利用者の要望に応じた支援を行なっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への定期受診や往診を行っており、必要に応じて情報提供表の作成などを行い連絡をとっています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に説明をしているほか、状態に変化が見られた時にはご家族、かかりつけ医、介護職員、看護職員とでカンファレンスを行い、今後の方針について話し合いを行い方針を共有しています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシー、個人情報については入社の際に学習会を行い、書類も事務室で管理しています。また、言葉かけや対応についても指導し、対応の徹底を図っています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のご利用者と職員で相談し、要望の確認し支援するようにしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の準備や後片付けは入居者と共に行ったり、ご利用者の好みを取り入れた献立作りを行い、食事が楽しみなものになるように心がけています。		
22-2	56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各居室にトイレを設置しご利用し易い環境を整え、パターンを把握し個々のご利用者に応じた対応をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は入浴チェック表を使用し管理しており、ご利用者全員が週に2～3回入浴できるように配慮しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、裁縫、編み物、畑作業など個々のご利用者の好きな事を把握し、支援するようにしています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーへの買い物、中庭への日光浴、野菜の収穫などの日常的な外出や、外食や花見などのイベント時にも外出するようにしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
25-2	65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する学習会を虐待の学習会と一緒にを行い、身体拘束をしないケアを徹底しています。		
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には日中は玄関の鍵を開けていますが、安全確保のために玄関のかぎをかける必要のある方がいる場合については、ご家族と相談し玄関の鍵をかけることもあります。		
26-2	69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が発生した場合は、インシデント・アクシデント報告書を作成し、職員会議で検討し対応後の状況を確認しています。また、事故防止マニュアルを作成し確認しているほか、リスク管理の学習会を行い徹底を図っています。		
26-3	70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護職員に講師になっていただき、心配蘇生法やAEDの操作について学習会を行なっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組みを期待したい項目 (印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練や消防設備などの部分訓練は今年の5月に実施したのが初回で、それまでは行なっていませんでした。		定期的に避難訓練を実施できるように日程の調整や近隣の方々への協力要請など計画的に行なっていただけることを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の食べられる量に応じて盛りつけし、状態によっては粥や刻むなど食べやすくして提供しています。また、食事・水分量は職員間で情報交換しているほか、献立も管理栄養士にチェックしてもらいアドバイスをもらっています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは四季を感じることができるよう、しつらえの係りを中心に定期的な見直しを行い、居心地よく過ごせるように工夫しています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はタンス、テレビ、イスなど自宅で使い慣れたものを持ってきていただき、ご利用者が居心地よく過ごせるように工夫しています。		